



▼ PA-133



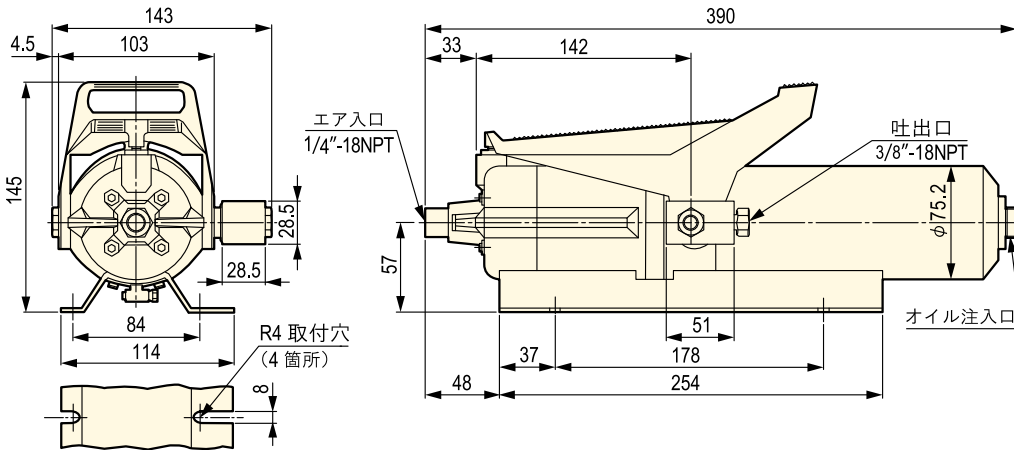
特長

- 軽量で使い易い、単動シリンダ用油圧ポンプです。
- 足踏みペダルを操作するだけで、単動シリンダを前進させ、停止後油圧を保持し、そして後退させることができます。
(単動スプリング戻りシリンダの場合)
- ポンプ油口のスイベル継ぎ手は、ポンプの移動と操作を容易にします。
- ポンプは全方向位置での操作と取付が可能です。
- エアメントの無い完全密閉型のオイルタンクは、持ち運び時の油漏れや、外部からの塵の侵入を防ぎます。
- ポンプのベース部に取付用の溝穴があります。

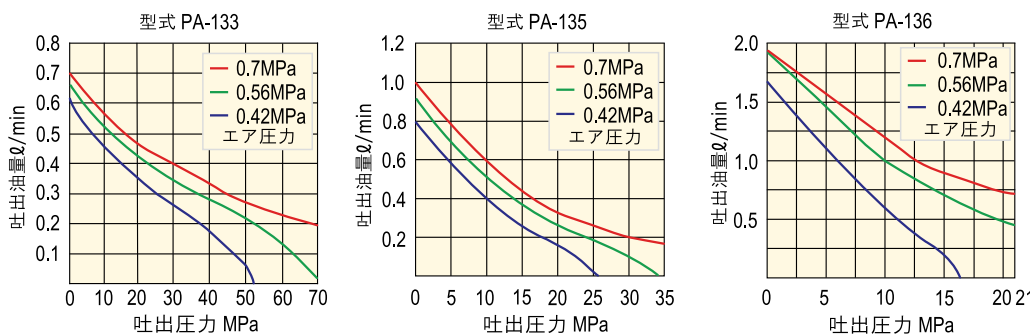
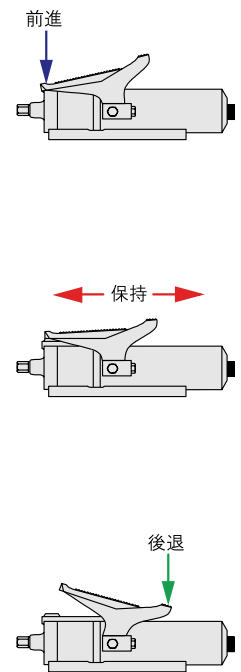
⚠ 注意

- タンクの破損を防ぐために、シリンダのストローク途中で、タンクに油をつぎ足したりするなどの、タンク容量以上の油を入れる行為はしないで下さい。(タンク容量 610cm³)
- エア側にレギュレータ、フィルタ、ルブリゲータの使用をお勧めします。ルブリゲータからの潤滑油の供給量が多いと、故障の原因となりますので、供給量を超微量に絞って下さい。(1日で1滴が目安です)

PA-133 / PA-135 / PA-136 寸法図・吐出量曲線図



▼ 足踏ペダル操作要領



仕様

型式	適応シリンダ	有効油量 (cm ³)	最高圧力 (MPa)	吐出量 ※ (ℓ/min)		足踏ペダルバルブ機能 (単動シリンダ操作)	使用エア圧力範囲 (MPa)	エア消費量 (Nℓ/min)	騒音レベル (dBA)	質量 (kg)
				無負荷時	負荷時					
PA-133	単動シリンダ	600	70	0.65	0.13	前進 ← 保持 → 後退	0.42 ~ 0.7	250	85	5.2
PA-135	単動シリンダ	600	35	0.96	0.16	前進 ← 保持 → 後退	0.42 ~ 0.7	250	85	5.2
PA-136	単動シリンダ	600	21	1.90	0.62	前進 ← 保持 → 後退	0.42 ~ 0.7	250	85	5.2

※ 無負荷時 (エア圧力 0.7MPa 無負荷時) と負荷時 (エア圧力 0.7MPa 最高圧力時) の吐出量です。